

大守 秀行

市議会だより

2025年10月吉日 No.44

発行責任者：大守秀行

〒710-8550 倉敷市玉島乙島7471番地

TEL:(086)525-2226

自宅：倉敷市中島1835-20



「持続可能な観光」について

1.観光客の現状と新たな振興プログラムについて

〈背景〉倉敷市は、美観地区や児島のジーンズストリート、水島コンビナートなど、歴史・文化・産業が融合した魅力的な観光資源を有している。新型コロナウイルスの影響により、観光客数は一時的に大きく減少したが、令和6年には約493万人まで回復し、外国人観光客の宿泊数も増加傾向にある。こうした状況を受け、市では観光振興の方向性を見直し、第3期観光振興プログラムの策定を進めている。

Question 1 観光客数の推移と、外国人観光客の国別傾向について、具体的なデータは？

答弁：別府文化産業局長

令和6年の観光客数は約493万人で、コロナ前の水準に近づいている。外国人宿泊者は台湾、フランス、香港などが上位を占めており、国際的な認知度の高まりが見られる。



Question 2 第2期プログラムの成果と課題を整理したうえで、第3期ではどのような重点施策を掲げているのか？

答弁：別府文化産業局長

第2期では情報発信や受入環境整備に一定の成果があったが、地域との連携や体験型観光の充実が課題であった。第3期では「地域共生型観光」「体験型商品開発」「安全・快適な受入環境整備」を柱とし、観光マネジメント体制の強化を図る。

2.DMO設立と宿泊税の検討について

〈背景〉観光施策の一元化と持続可能な財源確保は、今後の観光行政において重要な課題である。DMO(観光地域づくり法人)の設立は、地域の観光資源を戦略的に活用し、民間との連携を強化するための仕組みとして期待されている。また、宿泊税の導入は、観光施策の安定的な財源確保を目的として検討に着手する段階である。

Question 3 DMOの設立により、観光行政にどのような変化が生まれるのか。具体的な役割や期待される効果は？

答弁：別府文化産業局長

DMOは、観光戦略の司令塔として、地域資源の発掘・磨き上げ・発信を担い、民間事業者や地域団体との連携を通じて、持続可能な観光地域づくりを推進する。市としては、設立に向けた準備を進めており、関係者と協議を重ねる予定。

Question 4 宿泊税の導入にあたり、事業者の理解と協力を得るためにどのような取り組みを行っているのか。制度設計の進め方は？

答弁:伊東市長

宿泊税については、観光施策の財源としての必要性を踏まえ、検討委員会を設置した。事業者との意見交換や勉強会を通じて、制度の趣旨や用途を丁寧に説明し、理解と協力を得ながら制度設計を進める。

〈要望1〉宿泊税について以下の6点を要望した。

- ①広域性の観点から、岡山市をはじめとする近隣市町との制度設計や導入時期の調整と連携。
- ②システム改修費への補助
- ③代行徴収に伴う手数料の補填
- ④納税頻度への配慮
- ⑤宿泊料金が低い場合の免税設定の検討
- ⑥事業者の声を丁寧に反映し地域全体で納得感のある仕組みづくりと真摯な議論の場となること。

3.MICE誘致と地域資源の活用

〈背景〉MICE(会議・研修・展示会・イベントなど)の誘致は、観光だけでなく地域経済の活性化にもつながる重要な取り組みである。倉敷市では、地元の文化や産業を活かした体験型プログラムの開発を進め、他都市との差別化を図っており、特に玉島・児島・水島・真備などの地域では、受入環境の整備が課題となっている。

Question 5 これまでの MICE 誘致の成果と、今後の課題は？

答弁:別府文化産業局長

国の補助事業を活用し、地元の文化体験や食文化を取り入れたプログラムを開発しており、参加者の満足度向上と地域経済への波及効果が期待されている。

Question 6 美観地区以外の地域における受入環境整備の現状と、今後の誘致戦略について、市の方針は？

答弁:別府文化産業局長

例えば、児島地域では、施設のバリアフリー化や多言語対応など、受入環境の整備を進めている。今後は、地場産業との連携を強化し、「倉敷らしさ」を活かしたMICE誘致を展開する。

4.観光客の受入環境整備について

〈背景〉観光客が快適に滞在できる環境づくりは、リピーターの増加や地域の評価向上につながる。美観地区周辺では、トイレの洋式化やバリアフリー対応、夜間利用可能な施設の整備が求められており、市役所駐車場から美観地区へのアクセス改善も課題である。

美観地区周辺の公衆トイレについては、高齢者や障がいのある者から「利用しづらい」との声が寄せられており、特に「鶴形2丁目」や「倉敷本町」のトイレは段差があり、車いす利用者や足腰の弱い者にとって物理的にアクセスが困難な状況である。加えて、「鶴形2丁目」のトイレは男女の区別がなく、女性利用者から不安の声が上がっている。

Question 7 観光客の利便性向上に向けたトイレ整備の進捗状況と、夜間利用への対応は？

答弁:別府文化産業局長

トイレの洋式化やバリアフリー化を順次進めており、夜間利用可能な施設についても整備を検討している。物理的制約のある施設については、改修の可能性を調査中。

Question 8 市役所駐車場から美観地区への移動支援策（無料シャトルバス）について、今後の方針は？

答弁:別府文化産業局長

無料シャトルバスの再開予定はないが、公共交通機関の案内表示や観光案内所での情報提供を強化し、観光客の移動支援に努める。

5.周遊型観光

〈背景〉市内各地域への周遊を促進することで、観光の広がりや地域経済の活性化が期待される。

Question 9 「ぐるりんパス」の内容と、周遊促進のための取り組みは？

答弁:別府文化産業局長

「ぐるりんパス」は、公共交通と施設入場券をセットにした周遊型チケットで、観光客の利便性向上と地域間の回遊性を高める効果がある。体験型旅行商品の開発も進めており、地域資源の活用を図っている。

6.スポーツMICE

〈背景〉水島緑地福田公園では、人工芝・天然芝のサッカー・ラグビー場の整備が完了し、令和9年度には温水プールの開設も予定されている。すでに県内外からの大会や合宿の誘致が進んでおり、今後のさらなる活用が期待されている。こうした施設整備を契機に、スポーツイベントを積極的に誘致し、市内宿泊や観光消費の拡大につなげる「スポーツ MICE」の推進は、地域経済の活性化にもつながる重要な取り組みである。

Question 10 スポーツ大会や合宿などのイベントを通じて、市内宿泊や観光消費の拡大を目指す「スポーツ MICE」について、本市の現状と今後の取り組みは？

答弁:別府文化産業局長

倉敷市では、倉敷観光コンベンションビューローを通じて「コンベンション開催補助金」制度を設けており、スポーツ大会も対象としています。県外参加者の延べ宿泊者数に応じて、3万円から最大50万円の補助を行っている。令和6年度には34件の大会で約2万人の宿泊実績があり、今後は、大会前後に地域資源を活用した体験プログラムの提供や、レセプション・祝賀会でのユニークメニューの提案などを通じて、参加者への情報発信を強化し、さらなる観光消費の創出につなげる。

〈要望2〉

福田公園サッカー・ラグビー場(人工芝)へのナイター照明の整備は、スポーツMICEや昨今の酷暑・猛暑、及び、施設利用の稼働率向上と市民の健康増進のため必要と考える。ナイター照明の設置を強く要望した。

7.工場夜景サミットと観光資源の育成

〈背景〉倉敷市の水島コンビナートは、昼間は産業の象徴として機能しているが、夜になると幻想的な工場夜景が広がり、近年では観光資源として注目されている。こうした地域資源を活かし、市では工場夜景をテーマとしたイベントやサミットの開催を通じて、観光の新たな魅力を発信しようとしている。そのなかで、市民参加型の取り組みや、ライトアップ設備の整備も含め、地域全体で盛り上げる体制づくりが求められている。

Question 11 水島で開催予定の工場夜景サミットの目的と、具体的な内容は。

答弁:伊東市長

工場夜景サミットは、地域資源としての工場夜景の価値を広く発信し、観光振興につなげることを目的としている。令和7年11月に水島で開催予定、PRイベント、地元産品のマルシェ、夜景バスツアーなどを企画している。



伊東市長

Question 12 市民や地元団体の参加を通じて、地域一体となった盛り上げを図るための工夫は？

答弁:別府文化産業局長

高校生や地元団体の参加を促進し、地域住民が主体的に関わることで、地域一体となった盛り上げを図り、市民が誇りを持てる観光資源として育てることを目指している。



別府文化産業局長

〈要望3〉工場夜景の魅力を高めるために、ライトアップ設備への補助制度創設を要望

水島コンビナートの工場夜景は、倉敷市ならではの観光資源として注目されている。夜間に浮かび上がる幻想的な光景は、写真愛好家や観光客から高い評価を受けており、地域の魅力発信に大きく貢献している。こうした夜景の質をさらに高め、観光資源として育てていくためには、企業によるライトアップ設備の新設・更新が重要な要素となる。

市として、水島コンビナートの企業と連携を強化し、ライトアップ設備への補助制度を創設することで、企業の設備投資を後押しし、夜景の質向上と地域全体の活性化につなげることを強く要望する。この制度が整備されれば、工場夜景の魅力がさらに高まり、観光誘客や地域経済への波及効果も期待される。

予算規模

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計	前年度同期比(%)
一 般 会 計	215,619,464	4,742,516	220,361,980	100.6
特 別 会 計	101,491,682	—	101,491,682	100.9
財産区会計	44,185	—	44,185	84.3
企 業 会 計	111,353,501	—	111,353,501	97.3
合 計	428,508,832	4,742,516	433,251,348	99.8

公 宿泊税検討委員会運営事業

新規



魅力的で持続可能な観光地域づくりのため宿泊税の導入を検討する委員会を設置します。

事業費／83万円

- 主な経費／施設利用料
- 担当課／文化産業局 観光課

子ども相談センター移転事業



子ども相談センターの児童福祉機能と保健所の母子保健機能の連携をより強化し、子育てに関する相談支援の更なる充実を図ることを目的として、子ども相談センターを国が定める「子ども家庭センター」に改称し、くらしき健康福祉プラザ1階に移転します。

事業費／1,414万円

- 主な経費／修繕料 施設等整備委託料
- 担当課／保健福祉局 保健福祉推進課子ども相談センター

公 屋内運動場大規模改修等事業



小学校4校、中学校1校の屋内運動場について、断熱化を含む大規模改修に向けた設計を行います。また、西阿知小学校は、屋内運動場増築の設計も併せて行います。(令和10年度工事完了予定)

事業費／8,498万円

- 主な経費／設計委託料
- 担当課／教育委員会 教育施設課

防犯カメラ設置助成事業



町内会等が新規に設置する防犯カメラに対する補助金を追加します。

補助率：対象経費の9/10
補助上限額：30万円/台 1団体3台まで

事業費／1,800万円

- 主な経費／補助金
- 担当課／市民局 生活安全課



9月議会はジーンズ議会として、児島ジーンズを着用してPRしています。



22 大守 秀行

市民の皆様からのご意見やご相談を受け付けています。
お気軽にお声かけやお電話・ホームページ・facebook・LINEなどにてご連絡いただければ幸いです。

ホームページはこちら▶

